

4. 身近な水環境の全国一斉調査

(1) 調査の概要

河川や水辺など身近な水環境の保全や再生に関する市民の意識が高まる中、1980年代半ばから、市民や学校の子供たちによる身近な川の一斉調査が多摩川・荒川の流域や霞ヶ浦・琵琶湖の流域など全国各地で行われてきた。

平成16年からは、市民団体等が協働で全国の河川や水辺など身近な水環境の水質を一斉に調査し、「全国水環境マップ」としてとりまとめた結果を公表している。

平成27年の調査の概要は以下のとおりである。

表-30 身近な水環境の全国一斉調査の概要

	全国統一日に実施された調査	国内で実施された全ての調査	備考
調査日	平成27年6月7日(日)	平成27年5月9日～7月20日	-
参加団体数	428団体 (個人参加含む)	771団体	平成26年は792団体
調査地点数	2,749地点	5,842地点	平成26年は5,544地点

(2) 調査のまとめ

平成27年調査では全国的によい天気恵まれたところが多かったようである。

CODの水質結果では、全国のデータの割合がCOD0～3mg/L未満が37%、3～6mg/L未満が37%、6mg/L以上が26%となった。この結果は定点調査された水質結果だけに基づくものではなく、新規参加者の調査地点や従来調査地点から変更したものも含めている。傾向としては、都市河川で調査が実施されることが多いが、全体の37%の地点において、COD値が0～3mg/L未満という結果になっている。

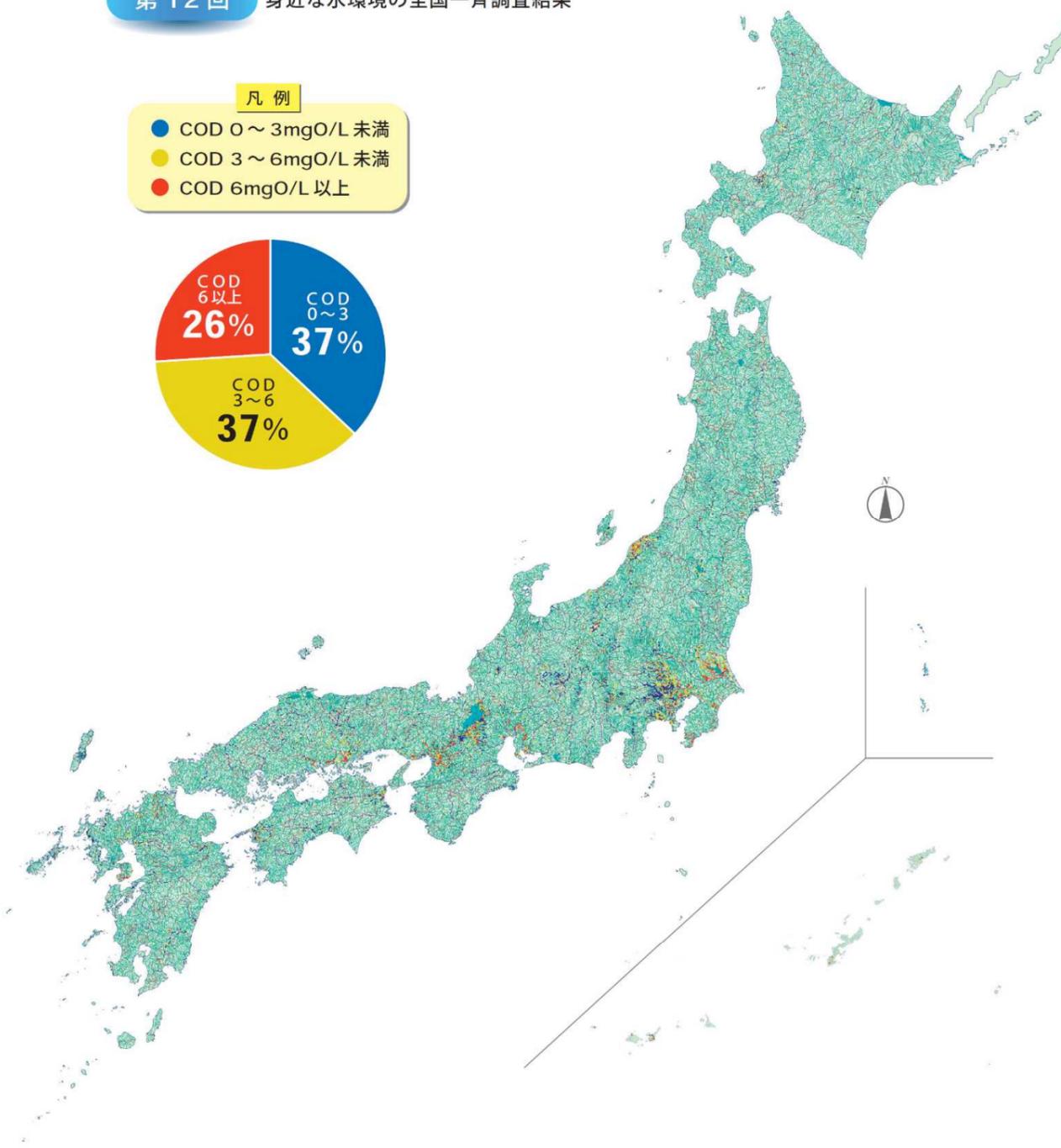
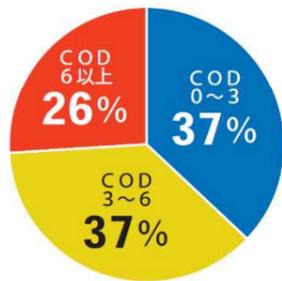
平成27年の全国水環境マップを図-40に示す。

2015全国水環境マップ

第12回 身近な水環境の全国一斉調査結果

凡例

- COD 0～3mgO/L 未満
- COD 3～6mgO/L 未満
- COD 6mgO/L 以上



2004全国水環境マップ

第1回 身近な水環境の全国一斉調査結果
水質調査の結果と分布

凡例

- COD 0～3mgO/L 未満
- COD 3～6mgO/L 未満
- COD 6mgO/L 以上



調査地点数と結果の推移

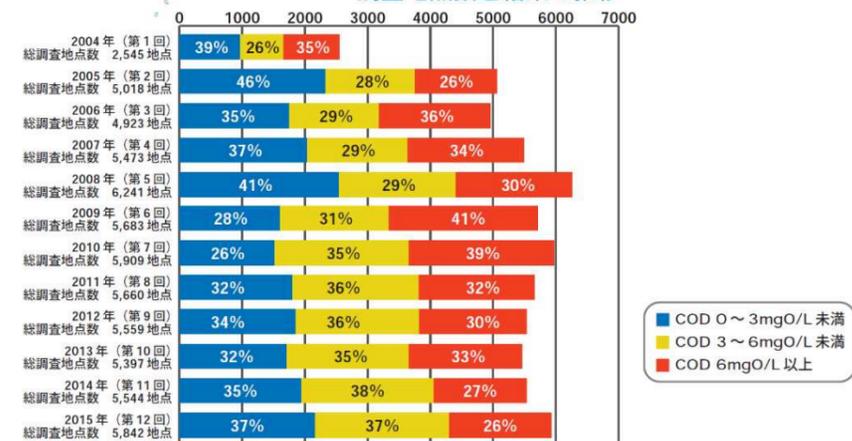


図-40 全国水環境マップ